

グループホーム 多久庵

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		・自立した生活の援助・選択の機会と自由・個人の尊重・プライバシーの保護・穏やかな死の援助 という5つの理念の下日々のケアを行っている。
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		理念を共有し、日々のケアの中で実践している。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		事業所内に掲示しており、また、パンフレットにも記載している。地域の定例会などに参加した際に、お話しさせていただいたりして、理解してもらえよう取り組んでいる。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		入居者の方とお出かけしたときなど、隣近所の方とお会いしたら、挨拶などをし関係作りに努めている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		自治会の定例会へ参加したり、地域の防災訓練、公園の花壇の花植えなどに参加し、交流を図っている。

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の夜間パトロールに参加して地域の防犯や、公園などの花壇の花植えなどに参加して、貢献できるよう取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価、外部評価を通して、良い見直しができ、意義を理解することができている。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は行えていない。		定期的に運営推進会議を開催できるように、また、サービスの向上に活かせるように取り組みたい。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	中学生の福祉体験学習の受け入れ、実践者研修などの研修生の受け入れを行っている。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前に成年後見制度や権利擁護について勉強会を講師を迎えて行った。		難しい内容なので、継続的に学ぶ機会を作りたい。また、外部研修への参加も促したい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	日頃のケアの中で、虐待につながる事はないか等を振り返り、虐待の防止に努めている。		外部研修への参加も取り入れていきたい。

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	話し合いの機会を持ち、利用者や家族の気持ち、思い、疑問などの解決に向けた十分な説明を行っている。また、家族が罪悪感を持たれないように、十分に傾聴している。		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	外部への苦情窓口及び当ホームの苦情窓口をリビング入口に掲示し、また重要事項説明書にも記載している。また、日々のケアや会話の中で、不満などないかを傾聴し、把握するよう努めている。何かある時はミーティングなどにて話し合い、対応するようにしている。		
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	家族来訪時に、暮らしぶりなどのお話をしている。また、「多久庵通信」にて、写真や様子などを記載し、3ヶ月毎に家族へお渡ししている。		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	外部への苦情窓口及び当ホームの苦情窓口をリビング入口に掲示し、また重要事項説明書にも記載している。また、家族来訪時に意見、不満などないかを把握し、何かある時はミーティングなどにて話し合い、対応するようにしている。		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	当ホームでのミーティングにより、職員の意見などを聴き、必要に応じて、法人全体の各部署の責任者ミーティングにて、話し合い対応している。		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	当ホームでのミーティング、法人全体の責任者ミーティングにて、話し合い、勤務調整ミーティングにて、勤務調整などを行っている。		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	職員異動により職員が当ホーム勤務になる時は、仕事内容、入居者の心身状況などを把握するまでは、勤務者+1として勤務し、なじみのスタッフと一緒にケアやコミュニケーションをとり利用者との関係を早く築けるよう努めている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>スタッフの採用に当たっては、運営母体の院長、副院長とともに仕事に対する熱意や取り組む姿勢などによって協議の上決定しており、性別、年齢などは考慮に入れていない。また、採用後は法人全体の中で、その部署がより適正化を見極め、配属している。</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>職員に対して入居者の人権を尊重させる教育の一環として、入居者の生活歴について把握させることを心掛けさせている。</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>パートを含む全スタッフを対象に定期的に勉強会を開催している。また、外部研修へ職員が積極的に参加できるように、参加費などの負担免除を行っている。</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会にて、ブロック内研修、全体研修、新人研修などを通して、勉強や意見交換、他ホームの見学などを行い相互的にサービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>日常の中でスタッフの生活状況、ストレス、悩み、スタッフ同士の人間関係のどの把握に努め、個別に話を聞く機会をなるべく設けている。事業所内での親睦が図れるよう親睦会などを設けている。</p>		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スタッフの自主性に任せた企画(敬老祭、クリスマス会など)の実施。健康状態の把握及び医療的なケアサポート。		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が落ち着いて話せるような環境づくり、雰囲気作りを務めている。また、体験入居等を通じて、本人と関わる時間を増やして受け止める努力をしている。		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居の相談や困っている事、希望等を聴く機会を作り、話しやすい環境、雰囲気作りに努めている。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	法人内にはほかのサービスとして、デイサービス、高齢者用ケア付きアパートがあり、どのサービスがより適切なのかを、本人や家族と話し合い対応している。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学や体験入居により、納得してサービス利用できるように努めている。また、徐々に馴染めるように家族の面会の機会を増やして頂いたり、電話でお話をして頂いたりして、協力してもらいながら、本人の不安を取り除けるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の気持ちなどに共感したり、一緒に洗濯、掃除などを行ったり、昔の歌を聴いたり、唄ったりして過ごしている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の入居前のお話を聴き、情報を共有し一緒に本人を支えていく関係を築いている。		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族来訪時、本人の日ごろの状況報告をし、状況に応じて、本人、家族との間に立ち、一緒にお話しし、より良い関係が築けるよう支援している。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人が来訪された時は、本人との良好な関係を保てるように、状況を見て、さりげなくスタッフが間に入り、円滑にコミュニケーションが取れるように努めている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一緒に歌を唄ったり、会話や食事をする事で利用者同士が関わりあえるように努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	同法人内での転居が多いので、継続的なかわりを保てる。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話、表情、態度などから本人の希望、意向の把握に努め、困難な場合は、家族との話し合いにて、本人本位に検討している。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、担当されている多ケアマネなどからお話を聞き、把握に努めている。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々のケアの中で、本人の現状を把握し、カンファレンスなどで、スタッフ間で情報の共有に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人との会話、表情、態度などから本人の希望、意向の把握に努め、困難な場合は、家族との話し合いにて、本人本位に検討している。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6か月ごとに介護計画の見直しを行い、見直し以前に心身の状況により対応できない場合には、ミーティングなどの話し合いにより見直しを行っている。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	体調の変化や気付き、表情等を記録するとともに、申し送りなどで、スタッフ間での情報の共有を図りながら介護計画の見直しに生かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	グループホームを希望され、満室のため待機している場合、2Fにサポートリビング多久庵があり、空室時には本人の状況や希望、緊急性に応じて、グループホームに空きが出るまで、一時的にサポートリビングへ入居することもできる。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣の中学校の福祉職場体験の受け入れを行い、入居者皆さん楽しくお話をされる。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人や家族の意向や必要性に応じて、訪問理美容や、訪問マッサージのサービスを利用している。		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターより、「権利擁護」についての勉強会の講師として来ていただいた。		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	運営母体がときつ医院であり、医療との連携はとれている。まあ、本人、家族の希望に応じて、病院の紹介や、以前から利用されていた医療機関の受診支援も行う。		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ときつ院に専門医がおり、連携を密にとっている。また、往診などにより、利用者の状態も把握されているので、その都度アドバイスもらっている。		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日頃から往診に来ていただいております。利用者の体調不良時には医師との間に立って、医療的処置をして頂いたり、アドバイスもらっている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>医療機関へ、日ごとの生活スタイルや利用者の性格などの情報を提供するとともに、現在の病状や本人の様子などの情報聞いている。また、主治医、看護師などとの話し合いにより早期退院できるよう努めている。</p>		
49	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>理念の中に「穏やかな死の援助」として挙げており、入居当初より家族には理解をいただいております、終末期の方針について話し合いをしている。</p>		
50	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>医療との連携はとれており、チームとして支援できる体制を作っている。また、家族の希望により、同法人であるグループホーム楽居、サポートリビング楽居への転居や、ホスピスなどへの紹介も行っている。</p>		
51	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>情報の交換により、継続的な生活を維持できるように努めている。</p>		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の記録、生活の情報など目に入らないように保管し、スタッフ間の情報交換などプライバシーに配慮して行っている。</p>		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	利用者に合わせて、言葉、話し方を変え、利用者が理解しやすいように気をつけている。また、利用者の話を最後まで聴き表情や様子を観察し何が言いたいのかを把握し安心して、納得しながら快適に暮らせるように支援している。		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースに合わせ、希望にそって支援し、その日の本人の状況に応じて、過ごして頂いている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理美容により、カット、パーマ、カラーなど、本人、家族の希望により支援している。利用者によっては、以前から行かれている美容院へ継続的に利用されている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳時に今日のメニューを説明し、一緒に食事をとり、感想等を聞いたり、テーブルを拭いてもらったりしている。		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族より、少額のお金をお預かりし、本人の好きな物を買に行ったり、家族からの差し入れなどをお出しして、楽しめるよう支援している。		
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各個人の排せつパターンを把握しやすいよう、排泄表に記録し、それを参考にトイレ誘導をしている。失禁などが減ってきたら、リハビリパンツから布パンツへ替えている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	その日の体調や希望等を優先して入浴されている。基本的には1～2日おきに入浴されている。		
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人の体調、表情、様子などを観ながら休息して頂いている。夜間の就床も、体調など様子を観て就床して頂いたり、個人のペースに合わせて就床して頂いている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	掃除や洗濯物置みなど手伝って頂いている。また、散歩に行ったり、お祭りなどの行事や、誕生会などを行い楽しんで頂いている。		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族よりお金をお預かりし、近くのコンビニに一緒に行き、ジュース、コーヒーなどを購入している。		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	コンビニへ買い物に行ったり、近くに公園に行ったり、散歩に行きたいと訴えがある時には一緒に散歩に行くようにしている。		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	不定期にて季節の花を見に行ったり、どんたくや、山笠の飾り山を見に行ったりしている。		計画は立てているが、その日の天気や利用者の体調により実行できない事もあり、出かける機会をもう少し増やしたい。

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望のある方には電話をして頂いたり、年賀状を書いて頂いている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間にかかわらずいつでも訪問して頂けるようにしている。訪問時には、本人の近況をお話したり、また、居室で家族だけで過ごして頂いたり配慮している。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッド臥床時に動きがあり、転倒の恐れがある利用者にはセンサーを使用し対応している。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室にはカギをつけていない。玄関は家族に希望により、オートロック式の鍵となっているが、希望があれば随時スタッフが付き添って外出している。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフがリビングに一人は居るようにし、利用者の動きや様子を把握し安全に配慮している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物などはスタッフで管理し、希望に応じてスタッフの見守りの下、使用して頂いている。		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会や外部の研修に参加し、知りえた知識をスタッフ間で共有している。また、事故が発生した際にはヒヤリハットを記入し事故の差発防止に努めている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	勉強会で、対応の仕方、連絡の仕方など、ときつ医院の医師、看護師の指導の下確認している。		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	半年に一回消防訓練を行い、消火器の使い方、消防署への連絡、避難経路などの確認を行っている。また、地域の防災訓練に参加をしている。		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	その都度家族に様子をお話をし、ミーティングで対応について話し合ったり、主治医に相談したりして対応策を家族に説明している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入浴前のバイタル測定や、日々の観察により、早期発見できるよう努め、体調の異変に気付いた際には、スタッフ間で情報を共有し、ときつ医院へ連絡し、医師の指示を仰いで、対応している。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の薬情を参考にし、理解するとともに、薬の変更があった際には、申し送りを行っている。服薬時には、スタッフ同士で、ダブルチェックを行い、誤訳防止に努めている。		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分の摂取に心がけており、繊維質な食材や乳製品などを取って頂くようしている。状況に応じて、温タオルでお腹を温めたり、腹部マッサージを行っている。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアの声かけを行い、各個人の能力に合わせて、見守り、介助を行っている。また、利用者によっては歯科医、歯科衛生士により、口腔ケアの指導をしてもらっている。		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	業者により、栄養バランスに配慮した献立をたててもらっている。また、キザミ、ミキサー食、一口大に切るなどし、利用者それぞれの状態に合わせた食事形態をとっている。栄養状態の悪い利用者や、食事がなかなかとれない利用者には栄養補助食品を利用して摂取して頂く。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	ときつ医院にて毎年インフルエンザの予防接種を利用者、スタッフ、希望される家族に実施している。手洗い、うがい、ウェルパスを行っている。		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ふきん、台拭きなど毎日ハイター消毒をしている。また、食器類は食器洗浄機を使用し、熱消毒、除菌を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	表には「多久庵」という表札をしており、道路から建物までの通路に植木など植え、入りやすい雰囲気になっている。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天候によって、カーテンの開閉を行ない暗くなりすぎないように、火の光が直接当たらないよう配慮している。また、行事ごとにリビング内を飾りつけしたり、テレビの音が大きくなりすぎないように配慮している。		

グループホーム 多久庵

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビング内にソファを設置しており、ゆったりと座って過ごせたり、利用者同士で会話をされた理、一緒に歌を唄ったりしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはなるべく馴染みの物等を置いたり、写真などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	24時間換気扇を使用しており、換気も行っている。リビングにはHR - C(除湿型放射冷暖房)を使用し、風が直接当たらないようになっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行などの際、安全な様にトイレ、廊下、階段、浴室など、随所に手すりを設置している。また、歩行や、車椅子自走等の際、障害物がないよう環境整備に配慮している。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	便所、お風呂、各個人の居室に大きな字で、わかりやすい位置に表札をしている。		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	デッキ、ポーチには花壇、プランターなどがあり、四季折々の植物を楽しむ事が出来る。また、デッキにて一緒に洗濯ものを干したり、日光浴をして活かしている。		

グループホーム 多久庵

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム 多久庵

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・一日が自宅にいるように、ゆったりと個人個人のペースに合わせた生活ができるように、利用者との関わりやケアを行っている。
- ・運営母体が医療法人であるため、医療との連携が密にとれており、身体の異常時にはすぐに対応ができる。また、理念の一つとして「穏やかな死の援助」と掲げているように、ターミナルケアにも力を入れており、医療のバックアップを受けながら、なじみの場所で、なじみのスタッフによって最後までケアを行っていかれたらと思っています。